

5Gの特性を活かした高技能工員の労働環境改善・労働安全確保・技術伝承の実現

クレーン運転台を高所から、地上に降ろし、運転手に、高品質な映像と音響を提供する事で、危険で、環境が厳しい、そして孤独なクレーン運転作業を、安全で、快適、そして、チームワークと連携が行える作業とする。これにより、スキルを持った運転手の不足とスキル伝承の課題を解決し、さらに、運転手のみならず、玉掛作業員をはじめとする、クレーン周辺の工員の安全の確保と効率化を実現する。



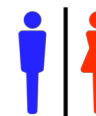
高所運転台(60m)
課題:揺れ, 孤独,
食事・用便



5Gが、運転に必要な臨場感を実現



WC



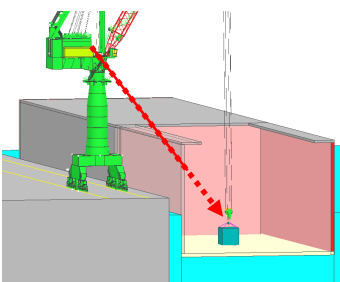
シフト表

	12月1日			12月2日			12月3日			12月4日			12月5日		
	1勤	2勤	3勤	1勤	2勤	3勤	1勤	2勤	3勤	1勤	2勤	3勤	1勤	2勤	3勤
小林															
遠藤															
藤橋															
黒田															
田中															
吉本															
船井															
荒木															
高市															

- ① 運転台を地上に
- ② 運転台の集約化

運転センター

見通せない玉掛作業現場
課題:労働災害



- 運転台の地上化・集約化の効果
 - ・労働環境改善
 - ・人員確保, 交代の容易化
 - ・スキル伝承の実現
- 高品質画像・音響伝送の効果
 - ・玉掛作業やクレーン足もとの目視確認の実現による安全確保
 - ・事故, 障害発生記録の蓄積による原因分析と改善

全国に分散した運転台
課題:交代要員の確保,
技術伝承



5Gが、リアルタイム制御を実現

5Gが、死角を解消